

# 各務原市地域包括支援センターつつじ苑通信

平成24年2月号

『もの忘れよろず相談医による認知症講話』2月22日(水) 稲羽コミュニティセンターにて

各務原市高齢福祉課と地域包括支援センターでは、23年度より、各務原市医師会により認定された「もの忘れよろず相談医」の先生に講師をお願いし、認知症講話を開催しています。



稲羽地区では、三井町で開業されご活躍されている「かわだ整形外科」の河田好泰先生が講師を引き受けてくださいました。



河田先生は、基本チェックリスト（※包括つつじ苑通信23年4月号等をご参照ください）で「認知



かわだ整形外科  
(各務原市三井町)  
河田 好泰 先生

症の予防をしたほうが良い」とされた人の数は各務原市でも多く、かかりつけ医と認知症の専門医が連携したり、医師とさまざまな関係機関が協力して対応していく必要があるとお話されました。また、早期発見し早期受診につなげるためには、ご家族やご近所などまわりの人たちが、小さな変化でも「ん!?大丈夫かな?」と気付いてあげられることが大切だとお話され、その意味でも、この講話に参加された地域の皆さんの役割がとても大きいことを投げかけられました。

そして、各務原市医師会としての取り組みなどについてスライド画面資料をもとに説明されました。さらに「どのようなときに相談するか、誰に相談するか」や「いろいろな認知症の種類」「事例紹介」など、医師の視点でみた説明は、非常に興味深く参考になり、かつ専門的な内容を多く含んでいるにもかかわらず、わかりやすい言葉でお話していただきました。

当日は、民生委員さん、近隣ケアさん、自治会の役員さんや地域にお住まいの皆さん、介護サービス事業者の皆さんなど、関心を持っていただいた50名以上の方々が参加してくださいました。

講師を引き受けてくださった先生、参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

講話の後には参加者からの質問コーナーもありました。医師の先生の講話を聞き、直接対話できるというのは貴重な機会だと思います。来年度も開催したいと考えています。よろしくお願いたします。



「もっとあーしろ、こーしろ。アレも載せろ」等、ご意見お待ちしております。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 (担当 長谷川・西脇・林)